

倉敷小児感染症サーベイランス

期間: 2017年12月25日 ~ 2017年12月31日 (第52週)

疾患名	病院(施設平均)				病院平均
	倉敷地区	児島地区	玉島地区	水島地区	
RSウイルス感染症	1.0			0.3	0.5
咽頭結膜熱	0.7			0.7	0.5
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎		3.0		3.0	1.9
感染性胃腸炎	26.3	6.0			11.4
水痘	1.0			1.3	0.9
手足口病	0.7	0.5		0.3	0.5
伝染性紅斑	0.3	0.5		0.7	0.5
突発性発しん				0.3	0.1
百日咳					
風しん					
ヘルパンギーナ					
麻しん					
流行性耳下腺炎					
インフルエンザ	65.3	36.5		34.7	46.6
アデノウイルス感染症					
異型肺炎					
無菌性髄膜炎					
計	95.3	46.5		41.3	62.9

疾患名	開業医(施設平均)				開業医平均
	倉敷地区	児島地区	玉島地区	水島地区	
RSウイルス感染症	0.1		1.3		0.4
咽頭結膜熱					
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.3	0.5	2.0	1.0	1.8
感染性胃腸炎	6.1	7.0	6.3	12.0	6.8
水痘	0.1		0.3		0.2
手足口病					
伝染性紅斑					
突発性発しん	0.3	0.5		1.0	0.3
百日咳					
風しん					
ヘルパンギーナ				1.0	0.1
麻しん					
流行性耳下腺炎					
インフルエンザ	32.1	45.0	23.7	47.0	33.3
アデノウイルス感染症	0.9				0.5
異型肺炎					
無菌性髄膜炎					
計	42.0	53.0	33.7	62.0	43.3

疾患名	地域合計(施設平均)				倉敷市平均
	倉敷地区	児島地区	玉島地区	水島地区	
RSウイルス感染症	0.4		1.3	0.3	0.4
咽頭結膜熱	0.2			0.5	0.2
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.6	1.8	2.0	2.5	1.9
感染性胃腸炎	12.2	6.5	6.3	3.0	8.5
水痘	0.4		0.3	1.0	0.4
手足口病	0.2	0.3		0.3	0.2
伝染性紅斑	0.1	0.3		0.5	0.2
突発性発しん	0.2	0.3		0.5	0.2
百日咳					
風しん					
ヘルパンギーナ				0.3	0.0
麻しん					
流行性耳下腺炎					
インフルエンザ	42.1	40.8	23.7	37.8	38.4
アデノウイルス感染症	0.6				0.3
異型肺炎					
無菌性髄膜炎					
計	58.0	49.8	33.7	46.5	50.8

疾患名	前週比較(施設平均)				倉敷市平均
	倉敷地区	児島地区	玉島地区	水島地区	
RSウイルス感染症	-0.1		-0.3	0.3	-0.0
咽頭結膜熱				0.5	0.1
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	-0.3	1.0	-1.7	1.3	0.0
感染性胃腸炎	4.2	2.8	0.7	-1.3	2.4
水痘	0.1			0.8	0.2
手足口病	-0.1	0.3	-1.3	0.3	-0.1
伝染性紅斑		0.3	-0.7	0.5	0.0
突発性発しん	-0.6	-0.3	-0.3	0.5	-0.3
百日咳					
風しん					
ヘルパンギーナ				0.3	0.0
麻しん					
流行性耳下腺炎	-0.1			-0.8	-0.2
インフルエンザ	-7.0	-23.3	5.3	-6.3	-8.2
アデノウイルス感染症	0.2				0.1
異型肺炎	-0.1				-0.0
無菌性髄膜炎					
計	-3.8	-19.3	1.7	-4.0	-6.0

流行施設名等

調査期間 2017年12月25日 ~ 2017年12月31日

(第52週)

	病名	流行施設名等
1	RSウイルス感染症	自宅(1)
2	咽頭結膜熱	自宅(1)、スマイル(1)、ひろえ保(1)、埼玉県幼稚園(1)
3	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	7才女児、老松小(1)、中島幼(1)、児小(1)、倉敷学園中等部(1)、大高幼(2)、水島保(1)、玉島小(1)、琴浦東小(1)、味野小(1)、三宝保(1)、琴浦西小(1)、緑丘小(1)、中州幼(1)、めばえ保(1)、清心保(3)、あさひ幼(2)、わかば保(1)、かがやき保(1)、福田南中(1)、小ざくら保(1)、ひろえ保(1)、親和保(1)、四福小(1)、羽島保(1)
4	感染性胃腸炎	ノロ自宅(2)、粒江小(1)、ニチキッズ保(1)、海星幼(1)、よしうら保(1)、わたぼうし(1)、黒崎保(1)、中山保(3)、しおかぜ保(1)、児島小(6)、琴浦中(1)、琴浦西小(1)、和井田保(1)、自宅(5)、大高小(1)、五福小(2)、水島保(1)、ゆりかご保(1)、田の口保(1)、赤崎保(1)、王原保(1)、下の町乳児(1)、かがやき保(1)、郷内保(1)、ノロウイルス感染症(2)、天城小(1)、万寿東小(1)、万寿東幼(1)、羽島保(1)、豊洲保(1)、東雲保(1)、万寿小(1)、若葉保(1)、中州小(1)
5	水痘	あさひ幼(1)、第三福田小(1)、ひろえ保(1)、四福小(1)
6	手足口病	ドルフィンメイト子ども園(1)、あおば保(1)、羽島保(1)
7	伝染性紅斑	ドルフィンメイト子ども園(1)、あしたか幼(1)、あさひ幼(1)
8	突発性発しん	小ざくら保(1)、自宅(1)、
9	百日咳	
10	風しん	
11	ヘルパンギーナ	自宅(1)
12	麻しん	
13	流行性耳下腺炎	
14	インフルエンザ	いずみ乙島保(2)、みどり保(1)、早島保(1)、自宅(19)、老松幼(1)、老松小(4)、ヤクルト保(2)、天城保(2)、たから保(2)、大高小(4)、不明(2)、赤崎小(4)、三宝保(2)、あおば保(2)、琴東小(1)、下津井西小(1)、児小(6)、琴南小(4)、竜王保(7)、稗田保(1)、郷内小(3)、琴浦南保(1)、味小(3)、田の口保(4)、琴浦中保(1)、第一福田保(3)、中庄小(2)、第二まこと幼(1)、清心保(2)、玉島保(1)、小谷かなりや保(1)、慈愛幼(10)、朝日塾小(1)、まこと保(1)、あさひ幼(2)、中島幼(3)、連島南(4)、ゆりかご(2)、五福小(2)、まこと幼(2)、二福小(4)、めばえ保(1)、かがやき保(1)、四福(1)、玉島小(2)、乙島保(1)、二福幼(1)、連島東小(4)、しんき小(2)、五福保(2)、水島保(7)、せいわ小(2)、早島小(2)、三福保(2)、黒崎保(2)、四福小(2)、本荘小(1)、一福小(2)、のぞみ保(1)、親和保(8)、一福保(5)、海星幼(3)、八幡保(1)、作陽こども(2)、沙美小(1)水島保(2)、中島小(15)、連島北保(2)、のぞみ保(1)、西浦小(2)、一福小(1)、連島保(1)、まりあ幼(1)、一福保(1)、小ざくら保(3)、神亀小(2)、水島小(4)、かなりや保(2)、終日短大(1)、帯江小(2)、玉島高校(1)、葦高小(1)、乙島小(1)、中山保(1)、琴西ことど園(1)、本荘保(1)、小川幼(1)、琴西小(1)、緑丘小(1)、児島中(1)、支援学校(1)、若宮保(2)、遍照保(2)、富田小(1)、長尾小(1)、第一中(1)、西阿知小(1)、中州保(3)、中州こども園(1)、金光学園中(1)、はやおき保(1)、茶屋町保(1)、かめやま保(1)、杉の子第二保(1)、ひまわり乳児(1)、豊洲保(1)、若竹の園(1)、東雲保(1)、三和保(1)、御国幼(1)、帯江幼(1)、同心幼(1)、常盤幼(1)、中庄小(1)、万寿東小(2)、庄小(1)、倉敷東小(1)、天城小(1)、万寿小(1)、杉の子第二保(1)
15	アデノウイルス感染症	大内保(1)、中州こども園(1)、早島保(1)
16	異型肺炎	
17	無菌性髄膜炎	

【備考】

i) アデノウイルス迅速法陽性 3例 五福保(1)

ii) インフルエンザ型A型 266例 連島南(6才男、7才男、2才男児、10才男児、9才男)、乙島小(7才男、9才女、9才男、12才男)、第二まこと幼(4才女)、連島東(12才女)、ひまわり保(1)、御国幼(1)、老松小(1)、竹中幼(1)、西中(1)、あしたか小(1)、柳田保(1)、遍照保(1)、第三福田保(1)、中山保(4)、竜王保(6)、本荘保(1)、琴浦西小(3)、倉敷支援学校(2)、児島小(4)、琴浦中保(3)、稗田幼(1)、上の町保(1)、味野小(1)、琴浦中(2)、しおかぜ子ども園(3)、高知市(1)、清心保(3)、亀山保(1)、小谷かなりや保(1)、倉敷作陽付属こども園(1)、若竹保(1)、笹沖保(2)、岡山朝鮮幼(2)、第四福田幼(1)、中島幼(1)、大高幼(1)、あさひ幼(1)、第二まこと幼(1)、西阿知小(1)、金光小(1)、中島小(3)、郷内小(1)、大高小(7)、中洲小(2)、上成小(1)、葦高小(2)、中庄小(1)

iii) インフルエンザ型B型 12例 天城小(2)、鷺羽高(1)、児島小(1)、杉の子第二

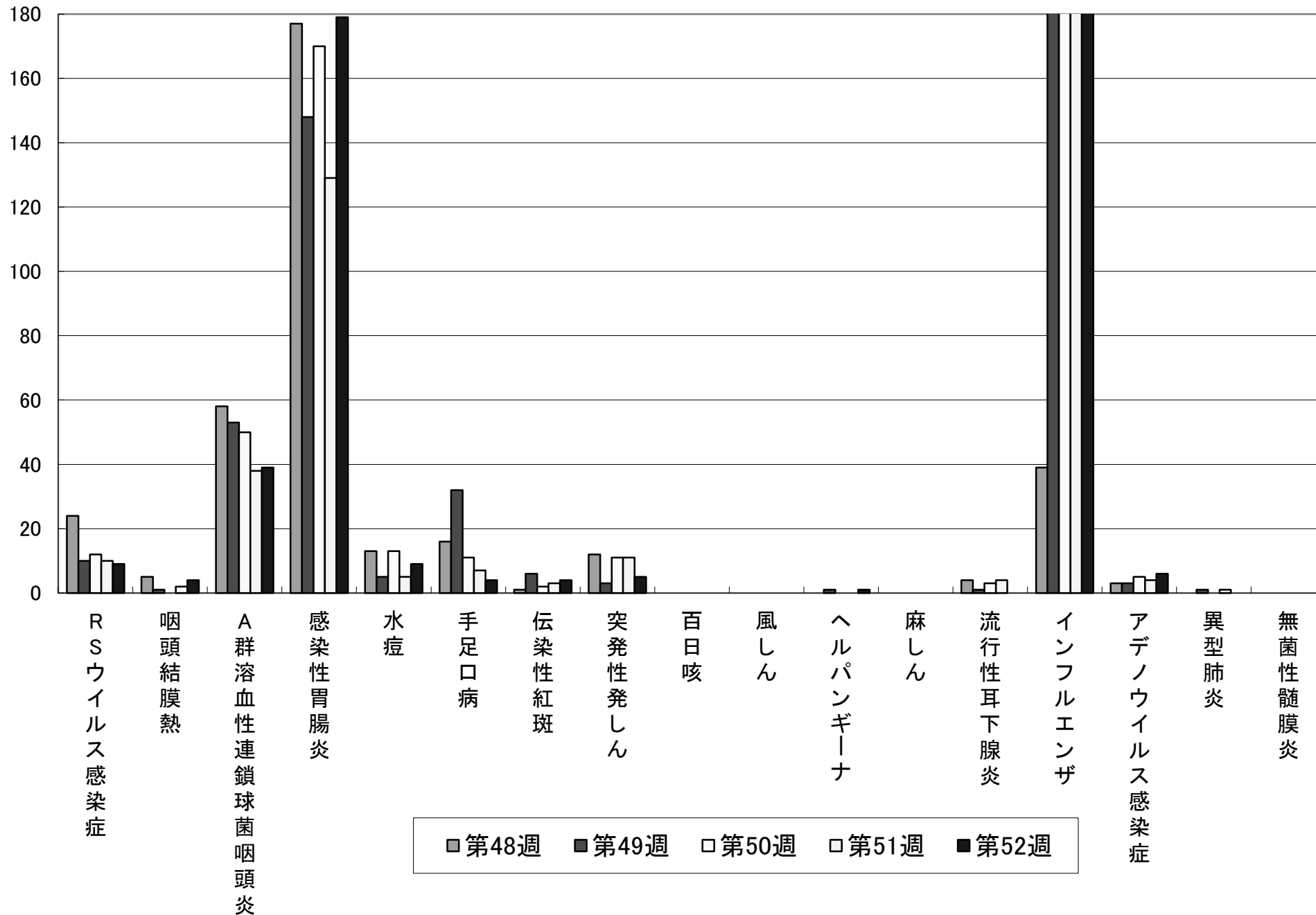
iv) インフルエンザ型不明 2例

iii) 細菌性胃腸炎(起炎菌等) キャンピロバクター東陽中(1)

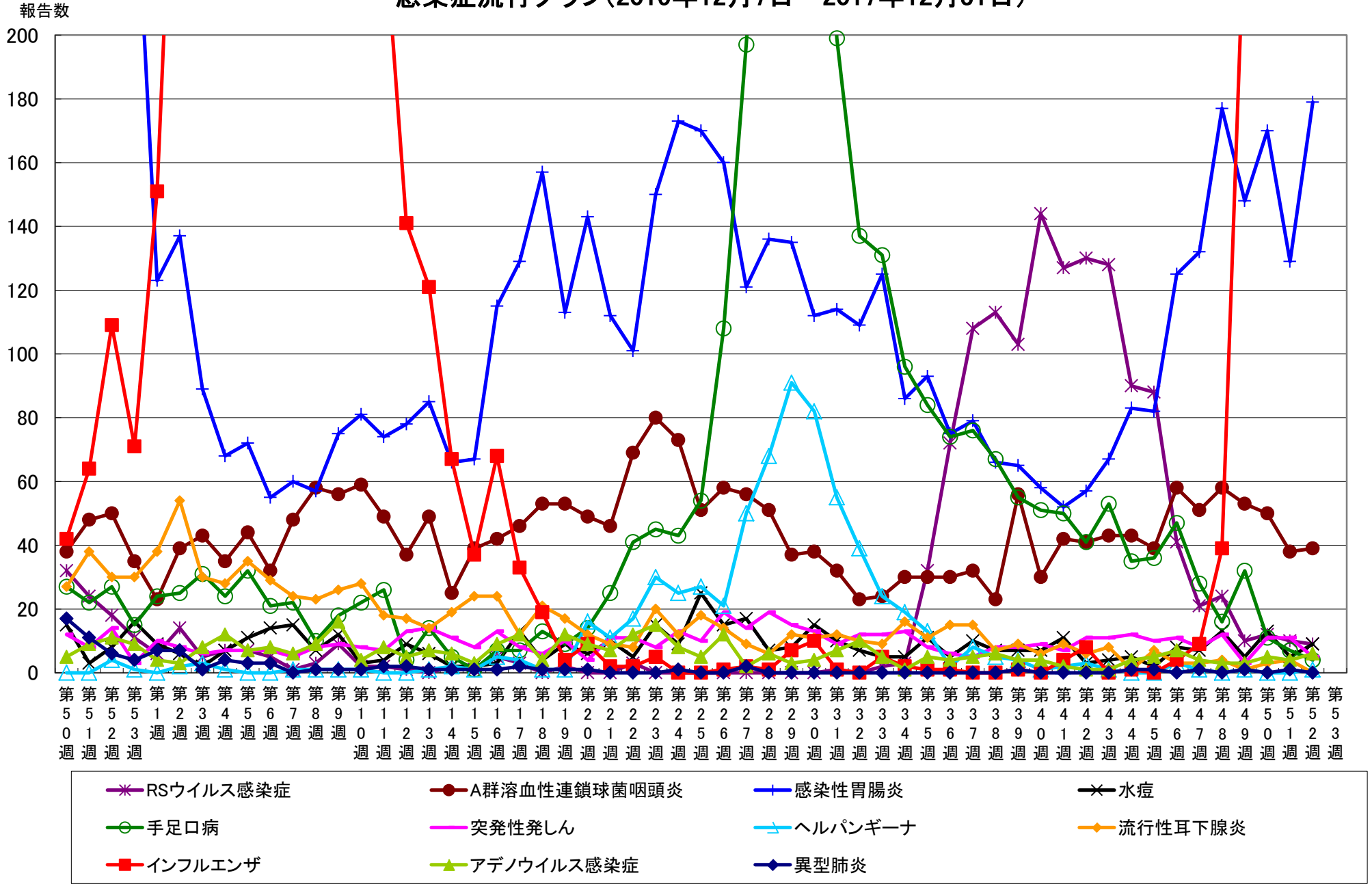
その他 マイコプラズマ(16): 自宅、かがやき保、五福保、せいわ保、豊洲小

報告数

感染症流行グラフ(過去5週:2017年11月27日~2017年12月31日)



感染症流行グラフ(2015年12月7日～2017年12月31日)



※2006年度の合計報告数が200例以上の感染症をグラフにしています (RSウイルス感染症、インフルエンザは記載)。

